

佛教大学広報誌

# B-ism

佛教大学

No.16

B-ism

No.16

発行日  
2018年(平成30年)6月30日

発行者  
田中 典彦

編集者  
広報委員会

編集・発行  
佛教大学広報課  
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
TEL 075-491-2141(代表)  
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 二条キャンパス

2 転識得智の体現へ 徹底的に取り組み

教育学部 教育学科  
渡邊 照美 准教授

10 01「」研究報告

バレエボール部  
漫画研究会

12 クラブ・サークル見聞録

保健医療技術学部 作業療法学科  
赤松 智子 教授  
「ハンドメイド」

13 Favorite 「先生のお気に入り」

15 Listen UP OB-OG訪問  
Hot TOPICS・大学の動向  
大政奉還150周年記念フォーラム  
「佛教大学×二条城」  
17 第11回 小学生俳句大賞 ほか

8 学生編集室の窓

ラジオを通して地域へ魅力を発信！  
「ぶっ☆ラジオ！」

14 輝きCloseUp 活躍する学生たち

21 BOOK Information 教員著書紹介  
22 B-Information みんなの掲示板

巻頭特集 | スペシャルインタビュー  
Special Interview

「転識得智の体現へ 徹底的に取り組み」

田中典彦学長は今春、学長に就任して4年目を迎えた。選ばれる大学であり続けるために、どのような研究や教育の改革を推進しているのか。開学100周年に設定した「佛大Vision(ビジョン)2022」やカリキュラムの見直しなどを軸に語ってもらった。

佛教大学長  
田中 典彦

大学の理念  
わかりやすく表現

「教員として佛教大学に約40年間関わってこられたが、学長という立場になったことで大学へのまなざしは変わりましたか？」

学長に就任した当初、一番考えたことは、佛教大学で学ぶ意味をどのように説明すれば、一般の人に理解していただけるか、ということでした。佛教大学は、仏教を開いた釈尊(ゴータマ・ブツダ)と浄土宗を開いた法然上人の教えを理念としています。もっと具体的な言葉で、だれにでも分かるように表現したいと思いました。

その結果、たどりの着いたのが「転識得智(てんじきとくち)」。この「転(てん)識(し)得(とく)智(ち)」という仏教思想です。「知(ち)識(し)を転(てん)じて智(ち)を得(とく)る」という意味で、平たい表現にするなら



田中典彦 (たなか・のりひこ)

1944年、大阪府生まれ。大阪教育大学卒業後、佛敎大学大学院博士課程満期退学。76年に佛敎大学専任講師、82年に同大学助教授、94年に文学部教授、2009年に仏敎学部教授に就任。これまでに四條センター所長(02~05年)、総合研究所長(05~07年)、副学長(07~09年)など本学の要職を歴任。15年4月より現職。18年3月より学校法人佛敎教育学園学園長に就任。専門はインド六派哲学、原始仏敎思想、仏敎と自然など。

**佛大Vision2022**  
開学100周年の2012年、これまでの歴史と伝統を守りながら、10年後の「佛大像」を定め、そこに向かって進むための基本方針を「佛大Vision2022」としてまとめた。社会の要請や時代のニーズを的確につかみ、学生の実力を向上できる教育体制の構築を目指して、「教育」「学生支援」「研究」「社会連携・社会貢献」「生涯学習」「管理運営」の六つの枠組みに基づいて基本方針を定めた。

「学生から離れるのが嫌で、今も1科目持たせてもらっています。学生と対話をする」と、さまざまなきっかけをもらっている。例えば、留学経験のある英米学科の学生からは、英語圏の留学生をもっと受け入れてほしいという



「社会福祉学科の学生からは、福祉の意味を『ふ』つうの『く』らしの『あわせ』だと教わり、見事な表現だと感心しました。学生とじかに話をする」と多くの気づきがあります。教えるだけでなく、共に教え合う「共育」という視点を、佛敎大学では大切にしていきたいと思っています。

「学んだ知識を、生きる力へ」となります。転識得智を体現する大学に改革していきたいと、徹底的に取り組んできました。

B-ism

2018 June

具体的にはどのようなものでしょうか。カリキュラムの改革です。大きな特徴としては、教養科目を二つに割ることです。まず1年生には「大学での学びとはどういうことか」を理解する教養科目を用意します。続いて、3年生で専門教育を受けます。この専門知識を基に、どのように社会に応用していくかを二段階目の教養科目で深化させます。カリキュラムの枠組みはできました。来年度からの実施を目指し、具体的な展開方法を一年かけて肉付けしていきます。

もう一つは日本語重視です。日本語といっても「国語」ではありません。自分の考えを的確に、論理的な文章を書く力をも身につけたいのです。日本語を理解できてこそ日本文化が理解でき、初めて国際人としての力が発揮できると思います。

**佛大Vision2022  
カリキュラム改革  
8割達成**

「開学100周年を迎えた2012年、大学の質の一層の充実を目指して、10年後の到達目標を「佛大Vision2022」にまとめました。進捗状況はいかがでしょうか。毎年自己点検・評価づけをしています。「学習支援」については、「学生支援推進室」「学生相談センター」「学生支援課」の相談業務を整理して、総合的な学生相談窓口を設置することとしました。教



員の養成に向けても、教職支援センターを発展的に再編して、教員養成に関わる業務の一元化を目指しています。「教育」「研究」に関しては、大学の質を保証するためのカリキュラムポリシーに基づく教育の充実を目指して、教育・研究環境の整備をはかっています。カリキュラムの改革は、ほぼ8割達成できたと思っています。

**学生との対話から着想「共育」の視点  
大切に**

**自校教育について**

**仏教とは人間学**

全学を対象とした自校教育の講義を担当しています。ゴータマ・ブツダと法然上人の生きざまと考え方を通して、仏教とは「人間学」だということを教えていきます。その理念があるからこそ、佛敎大学では、社会が混迷の様相を呈する時にこそ、社会と人、人と人とを結びつける「橋渡し」となって活躍してくれる人材の輩出を目指していることを伝えていきます。講義を通じて、「自分が生きていることを活(い)かしていける人間になりたい」と感じてもらえたらと願っています。



**学園長としても  
前向きに取り組み**

今年3月には、佛敎大学の母体である学校法人佛敎教育学園の学園長に任命されました。

佛敎教育学園は、二つの大学と一つの短期大学、二つの高校、二つの中学、三つの幼稚園を設置しています。これらの一体的な運営を図るために、学園として、理事長の元で、経営責任は「法人事務局長」が担い、教学面を主とした学校運営責任を「学園長」が担うことになりました。

今日の授業  
「伝書2」

### 信仰と実践の相続が大事

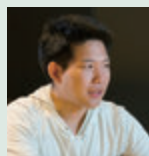
授業開始10分前から、次々と学生が礼拝堂にやってくる。仏さまに合掌一礼し入室する。席に着き、静かに曾和教授を待つ18人の学生。学生の1人が木魚をたたき、お念仏が室内にこだますると、教授が入室してくる。紫野キャンパスで、ここだけ別世界のような空気の中で、授業が始まった。この日の内容は『往生記』について。2つのホワイトボードが仏教用語で埋め尽くされては、消され、また埋め尽くされる。

一例を挙げるとこのような言葉が並ぶ。

#### ① 難遂往生機十三人

- 一〜四 至誠心を欠く人
- 五〜八 深心を欠く人
- 九〜十二 回向発願心を欠く人
- 十三 三心すべてを欠く人

曾和教授の声が静寂な堂内に響く。「阿弥陀仏以外の縁に自分から近付いていく人。そのような人は回向発願心がない」。そして授業の終わりもお念仏とともに。この日、木魚をたたいた仏教学部3年生の西成良樹さんは「去年の



秋に学生全員、大学の黒谷道場で長期間一緒に過ごしていますので、受講生は心が知れています。授業を通じてお互い切磋琢磨しています」と話す。曾和教授は「今日の授業でも触れましたが、信仰と実践の相続（継続）が大切です。仏教では、その人に最適な修行方法や救いの言葉を投げかけます。同じ人間でも昨日と明日では変わります。浄土宗では、自分は凡夫、仏道修行も満足に実践できない愚かな存在であると自覚せよ、と説きます。そのような自分が救われる方法は、阿弥陀仏の救いを信じ続け、その名を称え続けることしかない」と説きます。そのことを体得してもらいたいのです。年月の重みからか、言葉全てが深かった。

B-ism

2018  
June



とはいえ、曾和教授の個性がまったくないわけではない。文献資料を講読するにあたっては、出来る限り現代の言葉に置き換えたり、内容を説明する声に抑揚をつけるなど分かりやすく教えている。「伝書2」を受講しているある学生は「曾和教授の授業は初めてですが、とても分かりやすいです。

最初は厳しい感じかと思いましたが、実際はそんなことはなく、ジョークを織り交ぜながら和やかに授業を展開されています」と打ち明けてくれた。授業に出てくる仏教用語は、閉塞感漂う現代の日本において、心に響く。「この宗教でもそうですが、『自分はいったい何者なんだ』との問いかけがないと宗教は成り立ちません。もちろん、仏教学部以外の学生にも響くことは多いでしょう。この礼拝堂は、文化系のクラブやサークルの活動に使われた

りしています。仏教に興味を抱いてもらうきっかけになってほしいですね」と曾和教授は微笑んだ。「お坊さんという職業に就職する、ではなく、お坊さんとしての生き方を選ぶわけです。私が若い時にある先生から『あなたはお坊さんの資格はあっても自覚はないですね』とよく言われたものです。もちろん愛情を込めての言葉でしたが、本当に自覚を持つことが大切です。浄土宗の教えを信じ、自分の生き方の中心に据えて生きることを強

く意識して欲しいですね。いつもそうすることで、普段の行動にも現れ出てきます。背中を見てもうらうらうで、周囲の皆さんが付いてくるような人間になってもらえることを願っています」。宗祖法然上人が実践されたことを、自分自身も実践する――。人生は厳しいことや辛いことも多いが、妥協せずに浄土宗の僧侶として生き続けることで人々に信頼される人となる。泥に根を張りながらも、綺麗な花を咲かせる蓮のよう。



仏教学部 仏教学科 教授

## 曾和 義宏

曾和 義宏（そわ よしひろ） 1970年兵庫県出身。1993年佛教学部仏教学科卒業、佛教学部大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。佛教学部文学部人文学科専任講師、同仏教学部仏教学科准教授を経て現職。専門分野は「浄土学」「中国浄土教」、研究課題は「中国仏教における仏身仏土論の展開」。所属学会は「日本印度学佛教学会」「日本佛教学会」。主な著書・論文として「五十五箇条伝目の相伝次第について」（『浄土宗学研究』43号、2017年3月）、「道禪の仏身仏土論の特異性」（山喜房佛書林、『高橋弘次先生古稀記念論集 浄土学仏教学論叢』、2004年11月）、「大乗大義章」における仏身論」（『浄土宗学研究』36号、2010年3月）、「迎才『浄土論』の書誌学的研究」（『佛教文化研究』50号、2006年3月）、「阿弥陀仏の仏身規定をめぐって」（『浄土宗学研究』26号、2000年3月）

お坊さんの資格だけではなく  
“自覚”を持つことが大切  
浄土宗を中心に据え、  
背中で信頼を集められる人間に  
人々から信頼されるお坊さんへ。  
曾和教授の授業「伝書2」は、お坊さんの資格だけではなく自覚を持つべく人間を育てている。瀉瓶（しゃびょう）の概念のもと、オリジナリティを抑えながらも、曾和教授の色が織り成す「伝書2」は、奥が深い。

「伝書2」の授業は礼拝堂（水谷幸正記念館）で行われている。正面の本尊阿弥陀如来を眺めながら、「2016年10月に竣工したこの礼拝堂を授業で使用し始めたのは、昨年からです。将来、浄土宗のお坊さんとなる学生に、『授業に留まらず修行でもある』と認識してもらうためです。礼拝堂の狂巖（しょうがん）を感じて欲しいですね」と、洋装法衣に輪袈裟を身に付けた曾和義宏教授は話す。受講にあたっての留意事項は「浄土宗の法燈を継承していくものとなる決意をもって授業に臨むこと」。女性1人含む約20人の受講生は、浄土宗の教師（僧侶）となることを目指す学生だ。「浄土宗伝法の歴史と伝書の講読」をテーマに、浄土宗第七祖了譽聖間に よって確立された伝法制度の概要について講述し、三巻書（『往生記』、『末代念仏授手印』、『領解末代念仏授手印抄』）を、その注釈

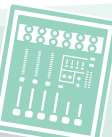
書である七巻書を参考にしながら講読する。「授業の目的は伝法の歴史と伝書の内容を理解すること。また、浄土宗教師として法燈を継承する決意を固めてもらうことにあります。お坊さんになるためには、大学等での事前教育ののち、京都なら知恩院、東京なら増上寺で3週間修行する必要があります。事前に理解しておくべきことを伝えるための授業ですので、授業の内容に関しては、私の独自性はほとんどありません」と曾和教授。それが、「瀉瓶（しゃびょう）」と呼ばれ、「ひとつの器に入っている水を、こぼさずに、何も足さずに、別の器に移し替える」浄土宗の伝承だという。





# 佛大 BUTSUDAI なろう NOW!

## ラジオを通して地域へ魅力を発信!



### メンバーから一言



「ぶっ☆ラジオ!」とは佛教大学の学生が佛教大学の魅力や大学生の実態、京都市北区を中心とした地域の情報を発信していく番組です。FM78・0 Radio Mix Kyotoさんのスタジオをお借りし、お送りしています。学生がパーソナリティーを担当し、制作も行っていきます。2017年度は毎月第3、4木曜日19時から、2018年度は毎週火曜日19時からFM78・0で放送されています。当日23時からは再放送も行われています。放送局のホームページからインターネット配信で聴くこともできます。また、過去の放送内容も同ホームページに掲載されているので、ぜひお聴きください。



ページからインターネット配信で聴くこともできます。また、過去の放送内容も同ホームページに掲載されているので、ぜひお聴きください。

### ラジオ番組制作の流れ

- 1 打ち合わせ**  
まずは皆で集まって、話し合いながら番組内容を決めていきます。この会議こそが、番組成功の力を握ります! 特に「ゲスト決め」が最も重要で難しい点です。ゲストが決まれば、ゲストと事前に打ち合わせを行います。
- 2 台本作成**  
番組内容が決定したら、各自担当のコーナーの台本を作成します。台本なしでしゃべるのはなかなか難しいので、しっかりと台本を準備し、全体の流れを考えていきます。また、台本を読むだけにならないように、話し方も練習していきましょう。
- 3 リハーサル**  
本番組の最終確認。本番と同じ流れでリハーサルを行い、トークの展開のさせ方や時間配分を考えます。本番は生放送なので、番組が長すぎたり短すぎたりならないように、事前に準備しておく必要があります。
- 4 本番**  
いよいよ本番組。事前に準備してきたことを十分に発揮する時です。やはり生放送なので、緊張しますが、話し慣れてくると楽しく感じてきて、番組時間があっという間に感じます。終了後は次の番組に向けて反省会を行います。



### 先生から一言 Listen now!



社会学部 現代社会学科 准教授 吉見 憲二

実はこのプロジェクトは「学生がラジオ番組を制作すること」ではなく、「学生が自分たちの力で大学をもっと楽しくすること」を目標としています。今年度で3代目のメンバーを迎えて少しずつ番組制作にも慣れてきたところなので、引き続き学生と一緒に目標に向けて試行錯誤していきたいと思えます。



昨年度の活動についてお話しします。「ぶっ☆ラジオ」では地域で活動する方や大学内で活動する方、また、大学から地域に飛び出して活動する方など様々なゲストを迎えて、活動内容や魅力についてお話しいただきました。加えて、私たち自身も実際に地域に飛び出し、イベントに参加したり、いろんな所を訪れたりすることで、その魅力などを紹介しました。本年度も多くの大学や地域の情報をラジオに乗せて発信していけるように、この番組により一層力を入れていきたいと思っています。

### 昨年度の活動



### 編集後記

今回、「学生編集ページ」を担当するにあたって、どう伝えと分かりやすいものになるかを考えました。これはラジオ番組の制作でも重要なことです。ラジオ番組制作は普段できない経験だと思うので今一度、自分たちの活動を見つめ直し、よりよい番組を皆さんにお届けできるように努力していきたいと思えます。



### なうな掌話 その二十一

「リスナーに心地のよい音を届けます」  
ぶっ☆ラジオ! 機材担当の里中です。言わば裏方である機材担当は、放送前に出演者とのマイクテストや、番組で流す音源が正常に流れるかを確認するといった作業を行います。本番は一人で全ての音をコントロールしているので、とても責任重大なのですが放送終了後にははとてつもない達成感に満足溢れます。



原 侑也 社会学部 現代社会学科 4年生

私がこのプロジェクトに参加した理由は、元々ラジオが好きで、番組のパーソナリティーをしてみたい! という思いがあったからです。実際に活動が始まると、企画から取材、放送とそのほとんどが学生主体であるということに驚きました。私は主に、地域の人の活動を取り上げ、取材・出演交渉・当日の進行と一つのコーナーを任されています。このコーナーでは、地域の人の取り組みを知ることが出来たり、新たな繋がりが出来ることに魅力を感じます。大変なこともたくさんありますが、皆さんが楽しく聴いてくださるようなラジオ番組の制作を目指します。



Listen now! 播磨 美奈 社会学部 社会学科 2年生

私は昨年4月、新入生ゲストとしてラジオに出演しました。その後、ご縁がありパーソナリティーとしてラジオに関わっています。ゲストとパーソナリティーではラジオに対する緊張感が違います。生放送でお送りしているので、うまく時間調整しなければなりません。本番でリハーサル通り進まない場合でも、臨機応変な対応ができるよう気を配っています。本番が終わった後、「今日は楽しかった。いい経験になった」とゲストの方が言ってくださると、とてもやりがいを感じます。

# 「生きることを考える」「死」の探究

遺された人の声に聴く、失ったその後の成長とは

教育学部 教育学科 准教授 **渡邊 照美**



死は、人の一生においてもっとも悲しく、辛い出来事だと位置づけられている。私たちは死を恐れ、語ることを避け、目をそらそうとしている。でも、その恐怖がもたらすものは、本当に悲しみや不安だけだろうか。渡邊照美先生は、そうは考えていない。大切な人を失った後、前向きに生きていく人がいることを、見てきたからだ。



## いくつになってもある 発達という概念

専門は、生涯発達心理学。広義には「人の加齢に伴う発達の变化を研究する心理学」だが、発達にはさまざまな概念があるという。「例えば身体能力は20代前後を境に下降しますが、言語や問題解

決能力は年齢、経験を重ねることで発達します。年の功と言うべきか、人はいくつになっても成長できるという、一見とても前向きな研究だ。しかし、渡邊先生のフィロソフィは一見、暗い印象を受ける。「身近な人を亡くした中・高齢期の人が、ど

のような発達、成長をするのか」。追うのは、死別という体験が人に与える変化だ。「死」に関する研究のスタートは大学時代に遡る。「当時は、漠然と死にゆく人の心理に興味があると思っていた」ので、闘病手記などを資料に、否認

からやがて死を受容していく変遷など、当事者の「感情体験」を調べた。「それをもとに修士論文はまとめたものの、実は途中で行き詰ってしまった」。何となく始めたテーマに関心が薄れていく自分に気づき、「それ以上進めなくなってしまう」。

新たな研究に出合ったのは、博士課程の院生の時。「ホスピスのボランティア仲間」に、身内をそこで看取った方がいた。悲しい体験をしながら施設への感謝もあり、役に立ちたいと励む人たちと触れ合う中で、「死別経験者の発達」こそ、自分のテーマだと直感した。

定的な感情を聞き逃していったからだ。そこで今度は、紙面には表れなかった裏側を面接に求めた。すると、「壮絶な介護だったので、自分が倒れるかどうかの瀬戸際で、申し訳ないけど、お母さん、死んでくれてありがと」と思った。「亡き夫を思いながら笑えなかった、楽しいことをすることに罪悪感があった」など、死別に対するネガティブな捉え方が頻出。「ほとんどの方が大切な人の死に接して、一度『落ち込む』という発達」を経ている。言わ

れてみればあたりまえのことだが、大きな発見だった。

## 死を語り合うことの意義を発信

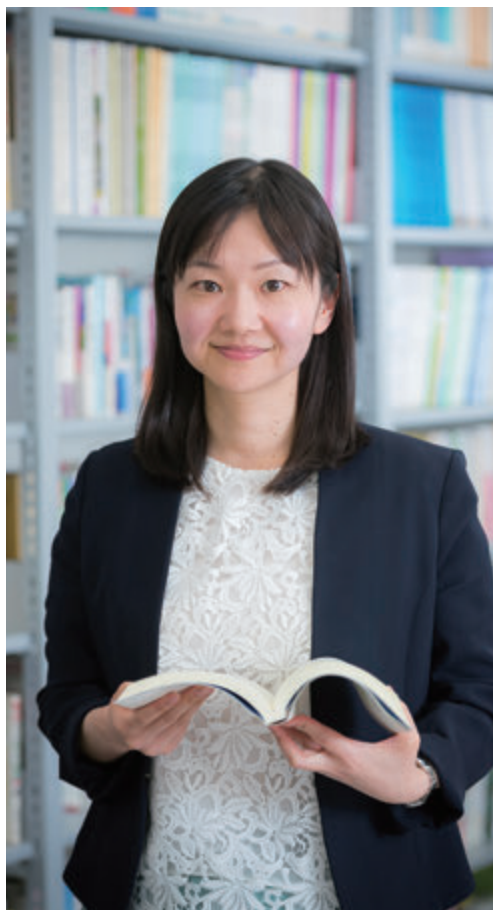
本学赴任後は、障がい者の問題にも注力するが、本分は変わらぬ。「ただ、葛藤を感じている。「男性によって変化しないという人もいる。発達を肯定・否定だけで括れるのか、心理的に変わらない状態も発達ではないのか」「迷いが生じていると話すが、「変化しない人をレジリ



エンス、もしくはPTGなどの概念で説明できないか思索中です」。迷いはモチベーションになっている。葛藤の一方で、成果発信の社会的意義は大きい。

## 人は何度でも やり直すことができる

死への意識といった負の感情に思いを寄せることの大切さは、教員をめざす学部生にも伝えていく。「子どもの悩みや怒りを肯定してあげて、真摯に向き合ってほしい」。同時に渡邊先生は、学生が悩むことを首肯する。「私がこの学問に興味を持ってきたきっかけは師の言葉、人は何度でもやり直しがきく」を感じてもらえれば。人生では、死別と同じく、青年期にめざした目標や創り上げたアイデンティティが挫折によって壊れるのはありうることです。それは先生自身も、実体験者だ。「それでも私たちは立ち直り、前に進んでいける。悩んだ末に、生き方を変えるのを恥じたり、躊躇なんてしなくていい。人はいくつになっても成長できるし、変わっていく。やはり生涯発達心理学は、どこまでも前向きな学問だった。



渡邊 照美 (わたなべ てるみ)

岡山県生まれ。広島大学学校教育学部を卒業した後、広島大学大学院教育学研究科博士課程前・後期修了、博士(教育学)の学位を取得。くらしき作陽大学で勤務した後、2013年に本学着任。専門分野は障害者心理学、生涯発達心理学。「身近な他者を死別で喪失した後の成長」「発達慢性疾患児と家族の支援」「介護家族の心理的変容」などを研究する。主な著書・論文に、「障害のある子どものための「文字・数」学習」(編著)、(ミネルヴァ書房、2018年4月)、「はじめての死生心理学」(共著)、(新曜社、2016年4月)、「エピソードで学ぶ障害の重い子どもの理解と支援」(編著)、(ミネルヴァ書房、2015年4月)、「新・青年心理学ハンドブック」(共著)、(福村出版 2014年1月)、「シリーズ生涯発達心理学1 エピソードでつむぎ生涯発達心理学」(共著)、(ミネルヴァ書房、2013年4月)、「成人発達臨床心理学-個と関係性からライフサイクルを観る-」(共著)(ナカニシヤ出版、2010年4月)。



赤松 智子(あかまつ ともこ)

京都府出身。京都大学医療技術短期大学部卒業後、作業療法士として難病のリハビリテーションに従事。母校に戻り、教育・研究・臨床を経て、2006年度より現職。保健学博士(神戸大学)。専門は神経筋疾患の作業療法、神経心理学。主な著書・論文に「パーキンソン病の人に対する京都におけるヘルスツーリズム」(『第30回リハビリ工学カンファレンス論文集』30号、2015)、「京都の観光地訪問によるパーキンソン病の人のリハビリテーション効果」(『佛教大学保健医療技術学部論集』8号、2014)など。

# 先生のお気に入り favorite

## ハンドメイド

第十五回 保健医療技術学部 作業療法学科 教授  
赤松 智子先生の巻



### 自分自身を作業療法

ハンドメイドが好きです。例えば、編物、織物、裁縫、ペーパークラフト、リースなど、研究室にも、臨床などで関わった方が作られたものや自作品があります。自作の種類が増えたのは、作業療法士として病院で働き始めた頃からです。本来、器用ではない私が、ハンドメイドにのめり込んだ理由は、作業療法を通して関わった方と二人三脚で素晴らしい作品が生まれるからです。病気のために手のふるえや指の動きが悪い状態で、「自分でつくりたい」「デザインはどうしようか」といった熱意



や想いに対して、どのような介入や工夫をすればよいのか対象者と一緒に相談し取り組んできました。退院後に「ご自宅で取り組まれた作品」を持ってきてくださった時は、作業療法士冥利に尽きますね。また、在宅で関わった筋萎縮性側索硬化症の方は、当初は乗り気ではありませんでしたが、次第にわずかに動

ける機会も増えました。そう言えば、私もストレスが溜まったり、想定外の事が起きたりして一段落した時には、作る事が多いです。「自分自身を作業療法している」のかもかもしれませんね。

かせる足の指でパソコンのマウスを操作し、何か月もかけて繊細な絵を完成させました。亡くなる少し前に「自分がこの1、2年間を過ごしてこれたのは、この作業に出会えたから。妻や娘に作品をプレゼントすることもできました」と喜びの声をいただきました。さらに、「その作品を通して、多くの人に伝えてください」との言葉をいただき、授業などで紹介しています。

作成に取り組み始めると、別の色や素材を試したくなり、気が付いたら作品が増えています。さらに題材やアイデアとなるヒントを求めて探索したり、貝殻や草木など、自然にあるものを採取したりします。海外に行った際には、気になるデザイン書や素材を見つけると購入して、日本の素材との組み合わせを考えたりしています。作業療法士になってレパートリーが増えた「私のお気に入り」ですが、その作品の遂行過程を含め、「作業療法士として素晴らしい仕事ですね」と言われる機会も増えました。

Hello!!

## クラブ・サークル見聞録

彼 是

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、  
佛教大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼是(あれこれ)を  
部員が自ら紹介、語ってくれます。

### バレーボール部



人間的な成長を目指し  
周囲から応援されるチームに!

社務部 現代社会学科4年生  
谷口一輝さん  
社務部 現代社会学科4年生  
北村海紗衣さん



活動日:火曜・水曜・木曜・土曜・日曜 活動場所:鷹陵館メインホールなど

創部45周年を迎える体育会バレーボール部は、男子部は部員13人、女子部が18人で活動しています。男子部は、2017年春季リーグで関西学連1部昇格を果たしましたが、現在は2部リーグに所属していますので、「1部再昇格!!」を目標に掲げています。平日練習は指導者が来られないケースが多いので、自分たちで課題やテーマを決めて取り組んでいます。リーグ期間中は、日曜日の試合に備えて、

個々の課題、チームの課題、対戦相手の分析で1週間が過ぎます。長期休暇期間には、広島県や愛知県などで2〜3泊の合宿を行い、普段は対戦できない複数の大学と練習試合をしています。女子部は、関西学連2部リーグに挑んでいます。私は幼稚園時代から追いかけていたバレーボールがたくて佛教大学に入學しました。現在はVチャレンジリーグの大野石油広島オライズに所属し活躍されている長谷川侑南(2017年社会福祉学部社会福祉学科卒)さんです。2学年以上で、佛教大学でも主将を務め、チームに変革をもたらしてくれました。長谷川さんの時代から、主将、副主将、主務に加えて、広報や施設調整などの担当を正式に決めることで、チームとして機能するようになりました。今でも帰省されたときには練習や応援に駆けつけてくれますし、後輩に受け継ぐべき礎を築いていただけたと感謝しています。

### OB・OGの活躍

- 上杉 徹 (2003年社会学部社会学科卒) Vプレミアリーグ 堺ブレイザーズ所属 (コーチ)
- 鹿谷 明生 (1988年社会学部社会福祉学科卒) チャレンジIIリーグ 奈良NBKドリームス所属 (監督)

### 漫画研究会



イラスト:本人作

「自由に描く」が伝統!  
描かれた絵に思いが宿る

文芸部 日本文学科3年生  
奥田光さん

漫画研究会には「それぞれが持つ個性を大切に、思い思いに描く」伝統があります。一人ひとりの個性や秘めたる思いが、描かれた絵から伝わるのが最大の魅力ですね。主な活動は年2回、各自が1枚の絵を展示するパネル展に合わせ、部内誌「殺風景」を制作します。44人の個性豊かなメンバーで活動していますが、大半は大学から漫画を描き始めた初心者です。入部後は画材講習会でのペンの使用法、トーンの貼り方、PCソフトでの技術講習など、基本から学びますので、漫画や絵に興味のある方なら大歓迎。先輩後輩関係なく、それぞれの知識やスキルを共有して、切磋琢磨できる環境が整っています。さらに、インターネットで漫画の上達法を学べますし、個人で作品をインターネット上に公開して、評価や反響も確認できるので上達を実感



活動日:火曜・金曜 活動場所:主に部室

### OB・OGの活躍

- 中川 学 (1990年文学部仏教学科卒) イラストレーター兼「瑞泉寺」住職

漫画ならでは「社会貢献」もしています。昨年、京都府中京警察署が企画し、中京防犯協会の協賛のもと、「特殊詐欺に注意!!」のイラスト制作を漫画研究会が担当しました。「オレオレ詐欺編」「架空請求詐欺編」など、年配の方にも伝わりやすい4コマ漫画で、中京警察署から感謝状をいただきました。今年の9月には創部40周年を迎えます。プロの漫画家を輩出するなど、歴史ある漫画研究会の「自由に描く」伝統をしっかりと継承していきたいですね。



漫画ならでは「社会貢献」もしています。昨年、京都府中京警察署が企画し、中京防犯協会の協賛のもと、「特殊詐欺に注意!!」のイラスト制作を漫画研究会が担当しました。「オレオレ詐欺編」「架空請求詐欺編」など、年配の方にも伝わりやすい4コマ漫画で、中京警察署から感謝状をいただきました。今年の9月には創部40周年を迎えます。プロの漫画家を輩出するなど、歴史ある漫画研究会の「自由に描く」伝統をしっかりと継承していきたいですね。

OB  
OG  
訪問

Listen UP

# 受けた恩は、 次世代へ返していきたい メディアも注目する「ねじ」を扱う専門商社

サンコーインダストリー株式会社 代表取締役社長

## 奥山 淑英さん

佛教大学 社会学部 社会学科卒業



奥山 淑英(おくやま よしひで)  
1974年大阪府東大阪市生まれ。00年佛教大学社会学部社会学科卒業後、ライブハウス勤務を経て03年にサンコーインダストリー株式会社入社。12年、代表取締役社長に就任し、物流とIT化の総合的戦略の推進を加速。ねじ関連の専門商社として約90万アイテムを取り扱い、顧客の多様なニーズに対応している。趣味はデザイン、軽音楽。

### 遊び心溢れるオフィス空間

大阪市を代表するオフィス街の本町駅に、サンコーインダストリーの本社はある。オフィス街には珍しく、縦ではなく横に広い社屋には遊び心が満ちた。Tシャツやポロシャツなどカジュアルな服装の若い社員で活気に溢れるフロアは、ちょっとしたカフェスペースや休憩所があり、企業ロゴに使われるペンギンが顔をのぞかせている。ねじを中心としたファスニング製品を扱う企業に対する世間一般のイメージとはかけ離れている。代表取締役の奥山淑英さんは「基本的にスーツは外出時くらいです。女性社員の制服は女性のチームにより、定期的にモデルチェンジしています。業界的にどうしても堅いイメージがありますので、明るい雰囲気づくりを意識しています。ペンギンは社員が出張先や旅先で見つけたら買ってきますので、世の中のペンギングッズがかなりあります。」

会社は、神戸の大手製鋼会社勤務歴のあった祖父が「三興製鋼(ひょうこう)」として大阪市北区末広町に木ねじ専門問屋



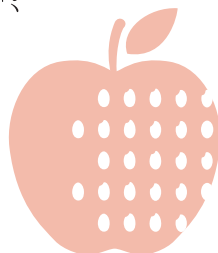
### 東日本大震災を機に 「人に優しい会社」を強く意識

デザインも手掛ける奥山さんの「遊び心」は佛教大学時代からか。音楽サーク

様々なメディアで紹介される理由が、垣間見えた。

B-ism

2018  
June



### 農と学の兼業学生、 青森より感謝を込めて

#### 背中押された、「行けばいいよ、お父さん」

片道7時間の通学路。櫻庭俊一さんはこの日、青森県弘前市から佛教大学紫野キャンパスへ。「学友会の会議がありましてね。学業の方は、あとは卒業だけです」。1947年生まれ、今年71歳。「支えられた感謝の学生生活」を振り返ってもらった。生家は弘前で五代続くリンゴと米を栽培する農家。長男の櫻庭さんにとって、家を継ぐことは当然で「大学へ行って勉強したい気持ちはあった」が、家の事情がそれを許さなかった。高校卒業と同時に兼業農家の道を40年余り続けた。

大学進学への思いは、定年退職が近づくとつれ再燃。意を決して奥様に相談すると、「妻は笑って『行けばいいよ、お父さん』と言ってくれた。ありがたかった」。学習意欲のみに支えられた一念は、「仏教」にたどりつく。子どもへの頃に聞いた、祖母が唱えるお念仏が印象に残っているという軽い理由だったが、仏教を学べる大学、しかも農業を続けながら「通える」大学を探した。「通信制で、京都にある大学というん

通信教育課程  
仏教学部 仏教学科7年生(浄土・仏教コース)

## 櫻庭 俊一さん

でワクワクしましたよ」。65歳になる年、佛教大学でのキャンパスライフが始まった。

### 公民館で高齢者に、ボランティアで小学生に

レポート提出では、畑仕事が終わってから机に向かうこともたびたび。「自営業だから朝寝られるしね」と笑うが、深夜から朝方まで取り組んで、仕事にかかることも。「それでも合格点をもらえるのがうれしかった」。スクーリングでは、田畑を案じながらの「通学」。「妻の協力もありましたが、帰らざるを得ない日もあった」。リンゴも米も、1年を通して仕事がある。両立は簡単ではなかったが、どちらの手も抜かなかった。

そして今、入学して7年、卒業までは論文を残すのみ。卒論のテーマは地元縁の深い人物の動向だ。「私が佛教大学に通っていると聞いて、友人が金光上人の存在を教えてくださいました。金光上人は法然上人のお弟子さんで、東北まで布教にいられて、弘前の近くで亡くなっている」。その旅路は不明な点、諸説があり、櫻庭さんは現存する資料が乏しいな足跡をたどる。友人の勧めと、本学教員のサポートをモチベーションにしながら、ラストスパート。

地元へ帰れば、公民館で高齢者の生活相談に応じたり、ボランティアで小学生らに津軽地方に伝わる鬼信仰など文化を語り継ぐ活動にも身を置く。「大学生活と仏教が教えてくれたのは、感謝と奉仕の心。い



ろんな人のおかげで勉強ができて、京都にまで来させてもらっている。少しでも還元していけたら」。憧れた大学は、櫻庭さんに多くをもたらした様子。「今は卒業が一番だけだね」。快活な笑顔に、充実の学生生活が照らし出されていた。

として設立した。今年で70周年を迎え、今では従業員数650人、1日のねじ売上本数約3800万本を誇る。96年に誰もが読みやすいように現社名に変更。「SANKO」ではなく、太陽とコーポレートを組み合わせた「SUNCO」の英語表記に。ねじに代表されるファスニング製品を取り扱い、「お客様の役に立ちたい」をモットーに、自動車、精密機械、OA、家電、建築など様々な業界を支えている。ねじの起源には諸説あるが、1500年頃にはイタリアの芸術家レオナルド・ダ・ヴィンチによってねじ部品が用いられた様々な装置が製作されている。「この千年で最高の発明」とも称されるねじについて、「締めるべき時は締め、緩めるべき時は緩まなければならぬ。例えば、ペットボトルの蓋がそうであるように。」

### 東日本大震災を機に

#### 「人に優しい会社」を強く意識

デザインも手掛ける奥山さんの「遊び心」は佛教大学時代からか。音楽サーク

サムライに扮するミュージシャン内田裕也氏を起用したCMでは、「ないねじはない。」のキャッチコピーとともに話題になった。今まで好きなことをやらせてもらえなかった。受けた恩は、直接その人へは返せないかも知れませんが、次代を担う周囲へ返していきたいです。功績を評価され受賞歴も多く、また、ユニークな成長企業として様々なメディアで紹介される理由が、垣間見えた。



# 第11回 佛教大学 小学生俳句大賞 結果発表

全国の子どもたちに、俳句を通してことばの楽しさを体験してもらいたいとの願いから始まった俳句コンテスト「佛教大学小学生俳句大賞」。11回目となる今回は、全国各地や海外の小学生から、36,317句(低学年の部11,255句、高学年の部25,062句)の作品をご応募いただきました。応募作品の中から、厳正な審査により選ばれた優秀作品を紹介します。



好評発売中!! 佛教大学小学生俳句大賞が1冊の本になりました!!

## 『小学生のための俳句入門 君もあなただもハイキング』

昨年、「佛教大学小学生俳句大賞」が10回目を迎えたことを記念し、『小学生のための俳句入門—君もあなただもハイキング』が出版されました。

第10回までの「佛教大学小学生俳句大賞」入賞作品から選んだ175句を10のジャンルに分けて掲載した俳句入門書で、学校や家庭でも楽しく読め、俳句づくりの参考書としても活用していただけます。

また、「佛教大学小学生俳句大賞」選考委員を務める、本学名誉教授の坪内稔典氏による俳句の基本やつくりかた、俳人・詩人の山本純子氏による作品解説もあわせて掲載しています。ぜひ一度お手にとってご覧ください。

監修：坪内稔典 (佛教大学名誉教授)  
編集：佛教大学  
出版社：くもん出版  
出版日期：2018年4月18日  
定価：本体1,500円+税



- 青砥 弘幸選  
みのむしもよるにはゆめをみるんだよ  
広島県 三原市立幸崎小学校2年 古谷 静音
- 尾池 和夫選  
おどろきにほくが作った花にじん  
鹿児島県 鹿児島市立山下小学校4年 福山 隼
- 大原 典彦選  
さむいよと雪も入るよろこびんぶる  
富山県 高岡市立東五位小学校2年 谷内 泉水
- 坪内 稔典選  
かどまつのまねしてほくもびんとたつ  
愛知県 碧南市立白進小学校1年 榎原 昊
- 山本 純子選  
ひきめげば二また大根おどりだす  
和歌山県 田辺市立上秋津小学校3年 大南 春香
- 原田 敬選  
初雪はみんなのことを熱くする  
兵庫県 西脇市立双葉小学校4年 酒井 千愛希
- 田中 典彦選  
ぶにぶにの弟の顔わらびもち  
大阪府 大阪市立福町小学校6年 石塚 琉之介
- 山本 純子選  
虫の声おふろに入ればきこえるよ  
愛知県 豊橋市立豊小学校5年 中野 月詩

B-ism

2018 June

# 大政奉還150周年記念フォーラム「佛教大学×二条城」

大政奉還(1867年)から150年の節目を記念したフォーラム「大政奉還と京都」が2017年12月9日、常照ホールで開催されました。歴史学部の青山忠正教授の最新研究と、時代劇でおなじみの俳優、榎木孝明氏の講演とあつて、高校生から年配まで幅広い年代が集まりました。



発見した、大政奉還関連の記述に基づくと、ホットな情報を披露し、聴衆を引き込みました。

続いて、基調講演の第二部では、俳優の榎木孝明氏が「役者から見た幕末と明治維新」をテーマに講演。時代劇は作品によって人物の描き方が異なることから、「演じていると悪人は一人もいないと感じる。正義にも悪にもなりうる」と話しました。また、古来の日本武術についても紹介。参加者を舞台上に招き上げてパフォーマンスを披露しました。



最後は、歴史学部の八木透教授の司会で、青山教授と榎木氏、斉藤准教授の座談「大政奉還と京都」を展開しました。

青山教授は榎木氏が古武術を紹介したことに触れ、「気が」というものを目に見える形で体感でき興味深かった」と話し、榎木氏は二条城の魅力に触れながら、重要文化財や国宝が映画撮影などに開放されることで「大切にしながらも、文化をうまく活用してもらえたら」と期待していました。斉藤准教授は青山教授の講演について「歴史は史料を使ってしっかり考えていく学問だと感じてもらえたと思う」と述べました。フォーラムの後は、青山教授の解



説とともに、二条城を巡る高校生対象のフィールドワークがありました。二の丸御殿の大広間や黒書院、白書院と順に見て回りながら、天井の作りや、ふすま絵の違いなどの説明を受け、高校生たちは「現場を見ることで興味がわき、教科書で習ったことをより深く知れた」と話していました。

### 1 四条センター 累計受講者数100万人突破!

四条センターは、建学の精神に則り、大学の教育・研究の成果を社会に広く開放することを目的に、1984年11月京都市中心部・四条烏丸の地に開設されました。

開設年は年間27講座、受講者数3072名から始まり、昨年度は年間71講座、受講者数3万7902名と、生涯学習の場として定着しています。

おかげさまで開設34年目の昨年11月、延べ100万人の受講生をお迎えすることができました。

※四条センターでは、開設35周年と受講者数100万人を記念した講座を10月下旬に予定しています。詳しくはホームページにてお伝えします。



お問い合わせ  
 佛教大学 四条センター  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/facilities/shijo/>

### 2 本学課外活動団体主催の中学生大会を開催

●硬式野球部  
 昨年12月23日(土・祝)、園部グラウンド野球場にて、第1回「ぶったん」親善少年野球大会を開催。京阪神の中学生4チーム約50人が参加。硬式野球部員による野球教室も実施。



●剣道部  
 3月28日(水)、鷹陵館メインホールにて、「第1回佛教大学体育会剣道部主催中学生剣道錬成大会」を開催。本学剣道部OB・OGが顧問を務める中学校の生徒74名を招き、男女個人戦、男女団体戦、大学生も参加した交流戦を実施。



### 3 就職支援に関する協定を締結

12月に香川県と、1月に岡山県と就職支援に関して連携する協定を締結いたしました。

この締結は、佛教大学と各自治体が相互に連携、協力に努め、同県出身学生を中心に県内企業の情報等の提供、ならびに同県内企業への就職やインターンシップの支援を行うことにより、Uターン就職の促進を図ることを目的としています。

なお、本学は、自治体との就職支援に関する協定を、滋賀県(2016年3月)、福岡県(2017年1月)、石川県(2017年11月)と締結しており、引き続き他自治体とのUターン就職支援を積極的に推進していきます。

### 4 マスコットキャラクター「ぶったん」が課外活動団体2団体とともに中京警察署から感謝状

自転車盗難等被害防止イベントへの協力により、映画部と漫画研究会、そしてマスコットキャラクターの「ぶったん」に、京都府中京警察署から感謝状が贈呈されました。



### 5 空手道部梅景唯選手と小川彩月選手が「京都市スポーツ大賞」を受賞

スポーツに対する市民の関心を高め、競技力の向上及び市民スポーツの振興等に顕著な業績のあった者が表彰される「京都市スポーツ大賞」に、全日本空手道連盟シニア女子団体形ナショナルチームに入り、国際大会「第7回東アジア空手道選手権大会」で優勝した空手道部所属の梅景唯選手と小川彩月選手が選ばれました。3月に行われた本学の課外活動表彰授賞式にて、田中典彦学長から賞状が授与されました。



### 6 京都府立清明高等学校との高大連携協定を締結

京都府立清明高等学校(京都市北区)と高大連携に関する協定を締結しました。

協定締結により、本学で



は、京都府立高ではじめての昼間二部制・単位制学校である清明高等学校の生徒を本学通信教育課程学生(特別科目等履修生・在籍期間1年間)として受け入れ、本学を進学先候補とする生徒数の増加を期待します。また、清明高等学校は、本学で修得した科目を同校での科目の履修とみなし、単位が認定されます。

### 9 平成30年度入学宣誓式を挙行

4月1日、紫野キャンパス鷹陵館メインホールにおいて平成30年度入学宣誓式が挙行され1378名が入学しました。大学院・学部・別科それぞれの新入生代表が入学者宣誓・署名を行い、田中典彦学長の告辞が述べられ、浄土門主のご垂示、学校法人佛教教育学園理事長のご祝辞をいただきました。



### 7 公認心理師 国家試験受験資格の取得が可能なカリキュラムを開設

教育学部臨床心理学科および大学院教育学研究科臨床心理学専攻(通信教育課程含む)において、2018年度より「公認心理師」国家試験受験資格の取得が可能なカリキュラムを開設しました。

「公認心理師」の国家試験を受験するためには、大学で所定の科目を履修したうえで、大学院での所定科目の履修または大学卒業後2年以上の実務経験が必要です。

なお、大学院教育学研究科臨床心理学専攻(通信教育課程含む)では、「臨床心理士」受験資格とあわせて取得することも可能です。

### 8 2018年度新学部長

2018年4月1日付で新たに学部長が就任いたしました。

● 仏教学部 松永知海教授(再任)  
 ● 文学部 松本真治教授(新任)  
 ● 歴史学部 貝英幸教授(新任)

### 10 「熊本地震」ボランティア活動写真パネル展を開催

「熊本地震」発生から2年を迎えた4月、学生ならびに教職員の被災地での活動の様子を伝える写真パネル展を開催しました。



B-ism  
 2018 June

卒業生の鑑木蓮さんの作品がTBS系列でドラマ化

本学卒業生の小説家、鑑木蓮さんの作品『思い出探偵』がTBS系列でドラマ化されます。

『思い出探偵』は、小さな手がかりから依頼人の思い出に寄り添うように調査を進めていくハートフルストーリー。『思い出探偵』(2009年)、『ねじれた過去』(2011年『思い出をなくした男』改題)、そして2018年1月にシリーズ第3弾『沈黙の詩』(文庫書き下ろし)が発売されました。



「思い出探偵シリーズ」(いずれもPHP文芸文庫)

鑑木蓮さんからのメッセージ

松本清張先生が活躍された時代から、書籍以外のメディア化が、より多くの方に作品を届ける必要条件となってきました。そういう意味で、「思い出探偵シリーズ」の一編が、TBS系列の『月曜名作劇場』枠でドラマ化されることは、期待も大きく、楽しみでもあります。誰にでも良い思い出、悪い思い出があり、すべてがその人の歴史です。立ち止まって過去を振り返るだけでなく、これからを生きる一歩前進の糧にしてほしい。そんな思いが、視聴者に届くと嬉しいです。

鑑木蓮 (かぶらぎ れん)

1961年京都市生まれ。佛教大学文学部国文学科卒業。卒業論文の題目は「江戸川乱歩論」。大学卒業後、塾講師、教材出版社、広告代理店勤務などを経て、1992年にフリーのコピーライターとして独立する。そのかわら作家を目指し、2004年、短編ミステリー「黒い鶴」を発表。同作は第1回立教・池袋ふくろう文芸賞を受賞。2006年、シベリア抑留を描いた推理小説「東京ダモイ」で第52回江戸川乱歩賞を受賞して本格的に小説家デビューする。

近著に『喪失』[P・O・Sーキャメルマート京洛病院店の四季]『疑案』『茶碗継ぎの恋ー編集者風見菜緒の推理』『京都西陣シエアハウスー個まれ天使・有村志穂』など。

2012年から佛教大学非常勤講師となり、「キャリアプログラム(文芸創作系)」を担当。

©放送日時等分り次第、本学ホームページにてお知らせします。

B-ism

2018 June

個性化プロセスとエンゲル派教育分析の実際

鈴木 康広(教育学部教授)  
遠見書房  
2018年2月3日  
4,968円

近代日本の少年非行史ー不良少年観に関する歴史社会学的研究

作田 誠一郎(社会学部准教授)  
学文社  
2018年2月28日  
7,560円

看護実践の質を改善するためのEBPガイドブックーアウトカムを向上させる現場を養っていくために

松岡 千代(保健医療技術学部教授)ほか監訳、アイオワ大学病院看護研究-EBP-質改善部門編  
ミネルヴァ書房  
2018年5月10日  
7,020円

今日の社会福祉における本質的対象認識の分析ー歴史的社会的必然性の認識と法則性の発見を求めて

末崎 栄司(社会学部教授)  
文理閣  
2018年5月1日  
2,700円

BOOK Information

著者  
出版社  
出版日  
価格(税込)

大学の教職員による刊行物をご紹介します。

中国の歴史現在がわかる本第2期③ 13世紀までの中国

山崎 寛士(歴史学部教授)  
かもがわ出版  
2018年2月28日  
3,024円

住宅扶助と最低生活保障ー住宅保障法理の展開とドイツハルト改革(札幌学院大学選書)

嶋田 佳広(社会学部准教授)  
法律文化社  
2018年4月17日  
7,560円

『今日の社会福祉における本質的対象認識の分析ー歴史的社会的必然性の認識と法則性の発見を求めて』

2018年度 教員・職員 新規採用者紹介 NEW FACE  
教員は学科と専門を、職員は所属を表記 ※特別任用教員は学科表記なし

<p><b>社会学部</b></p> <p>河内 良彰 (講師) 公共政策学科 地域経済論</p>	<p><b>教育学部</b></p> <p>相馬 伸一 (教授) 教育学科 教育哲学・教育思想史</p>	<p><b>歴史学部</b></p> <p>江川 温 (特別任用教員) 西欧中世史</p>	<p><b>文学部</b></p> <p>石崎 博志 (准教授) 中国学科 中国語学</p>	<p><b>仏教学部</b></p> <p>南 宏信 (講師) 仏教学科 仏教文献学(浄土教)</p>
<p><b>保健医療技術学部</b></p> <p>安居 幸郎 (教授) 看護学科 内科学</p>	<p>坪山 直生 (教授) 理学療法学科 整形外科学・運動器科学</p>	<p><b>社会福祉学部</b></p> <p>嶋田 佳広 (准教授) 社会福祉学科 社会保障法</p>	<p><b>社会福祉学部</b></p> <p>小池 桂 (教授) 社会福祉学科 社会福祉史</p>	<p>三重野 雄太郎 (講師) 公共政策学科 法律学(刑法・医事法)・生命倫理学</p>
<p>手島 弘恵 (助教) 看護学科 精神看護学</p>	<p>木下 純子 (助教) 看護学科 母性看護学</p>	<p>大崎 菜穂子 (助教) 看護学科 公衆衛生看護学</p>	<p>石堂 たまき (助教) 看護学科 成人看護学</p>	<p>阿部 慈美 (助教) 看護学科 老年看護学</p>
<p>松岡 達也 生涯学習部 通信学務課</p>	<p>本庄 良仁 生涯学習部 通信学生課</p>	<p>北川 恵里加 教育推進部 学務課</p>	<p>古武 正忠 (実習指導講師) 中学校教育</p>	<p>走井 徳彦 (実習指導講師) 初等教育・社会科教育・人権教育</p>
<b>教職支援センター</b>				
<p>澤田 均 (実習指導講師) 特別支援教育</p>				

2017年度退職教員

<p><b>仏教学部</b></p> <p>齊藤 隆信(仏教学科教授) 藤堂 俊英(仏教学科教授) 並川 孝儀(仏教学科教授)</p>	<p><b>教育学部</b></p> <p>川村 寛昭(教育学科教授) 石原 宏(臨床心理学科准教授)</p> <p><b>社会学部</b></p> <p>内藤 三義(現代社会学科教授) 高橋 伸一(公共政策学科教授) 龍本 佳史(公共政策学科教授)</p>	<p><b>社会福祉学部</b></p> <p>池本 美和子(社会福祉学科教授) 芳野 俊郎(社会福祉学科教授)</p> <p><b>保健医療技術学部</b></p> <p>二木 康之(理学療法学科教授) 折坂 義雄(看護学科教授) 山村 卓(看護学科教授) 木野 寛子(看護学科助教) 後藤 小夜子(看護学科助教)</p>	<p>永井 香織(看護学科助教) 中川 雅子(看護学科教授) 三田村 なぎさ(看護学科助教) 吉川 陽子(看護学科助教)</p> <p><b>教職支援センター</b></p> <p>増山 亨(実習指導講師) 松本 賢一(実習指導講師) 三上 英夫(実習指導講師)</p>
---	---	--	---

入試に関するお知らせ

オープンキャンパス

[日程] 7月22日(日)、8月4日(土)、8月5日(日)、10月14日(日) [場所] 紫野キャンパス・二条キャンパス(同時開催)

公募制推薦入試

試験日	試験会場
11月20日(火)・21日(水)・22日(木)	本学(紫野キャンパス)・福井・名古屋・彦根・舞鶴・大阪・神戸・奈良・和歌山・岡山 ※11月22日は本学・彦根・大阪のみ実施

\*一般入試A日程、一般入試B日程の試験日等は、次号(No.17)でお知らせします。

\*各入試の出願期間、試験科目等入試概要は本学ホームページ 佛科大学受験生ナビ「FIND! WEB」(<http://www.bukkyo-u.ac.jp/find/>)をご覧ください。

お問い合わせ先：入学部

宗教文化ミュージアム イベントカレンダー(2018年6月~11月)



宗教文化ミュージアム

宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

- 開館時間 10:00~17:30(※入館は17:00まで)
- 入館料 無料
- 休館日 ホームページ等でご確認ください

アクセス

- JR京都駅より京都市バス、「山越」より徒歩13分
- 三条京阪前より京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢駅前」すぐ
- 佛科大学紫野キャンパスより京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢駅前」すぐ

お問い合わせ先

宗教文化ミュージアム  
〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26  
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121

日時	内容
6月30日(土)~7月28日(土)	夏期特集陳列 「六字名号 — 仏の名をあらわす —」 ※月曜日休館(ただし7/16は開館。7/17休館)
7月28日(土) 14:00~	シアター上映会 「鞍馬の火祭 — 神輿と剣鉾と炎の祭礼 —」 解説：八木 透(本学歴史学部教授、本館研究協力者)
9月1日(土)~10月13日(土)	平常展示 「祈りと祀り、そして暮らし — 宗教文化研究への誘い —」 ※日曜・祝日休館(ただし9/23は開館)
9月23日(日) 14:00~	第38回シアター公演 「重陽の節供 — 講演と能のワークショップ —」 出演：山崎 浩之氏(観世流能楽師範) 藤々会(能楽観世流の会) 解説：八木 透(本学歴史学部教授、本館研究協力者)
10月27日(土)~12月8日(土)	秋期特別展 「徳器の成就に努めて智光を常照す — 佛科大学附属図書館所蔵品展 —」 ※月曜日休館(ただし10/29は開館)
11月18日(日) 14:00~	第39回シアター公演 「壬生大念仏狂言」 出演：壬生大念仏狂言保存会(重要無形民俗文化財) 解説：八木 透(本学歴史学部教授、本館研究協力者)

●有料公演 鑑賞料：1,000円

要事前申込

小誌の1コーナー、各学科の教員ならびに演習(ゼミ)に焦点を当てた「密着ゼミ」に代わり、今号から各学科の特色ある授業を取りあげ、授業のねらいを担当教員が語る「ピックアップ授業」が始まりました。今回は仏教学科。今後も各学科の、本学ホームページやパンフレットでの紹介に留まるにはもったいない(?)授業を取りあげていきますので、「佛科大学での学び」をご理解いただければ幸いです。

佛科大学広報課

B-ism

2018 June

B-information

みんなの掲示板

2018年 主な行事予定

13:30 ~ 16:00

法然仏教学研究センター講演会 「大乘仏教の思想家としての法然」  
●講師：頼住光子(東京大学大学院人文社会系研究科教授)  
●場所：佛科大学紫野キャンパス 常照ホール(成徳常照館5階)  
\*12:30より受付  
参加申込み不要、入場無料

Date 7/7 (sat) 13:30 ~ 16:00

学位記・卒業証書授与式(通学課程・通信教育課程9月卒業・修了)

Date 9/30 (sun)

創立記念式典

Date 10/23 (tue)

第52回鷹陵祭(学園祭)

Date 11/2 (fri)・3 (sat)・4 (sun)

ホームカミングデー  
佛科大学で開催する同窓会です。学間に、課外活動に、青春時代を過ごした佛科大学にお越しください。

Date 11/4 (sun)

公募制推薦入試  
(入試に関するお知らせ)参照

Date 11/20 (tue)・21 (wed)・22 (thu)

佛科大学 公式SNS

公式 Facebook  
アカウント名: bukkyo.univ  
<https://www.facebook.com/bukkyo.univ>

公式 Twitter  
アカウント名: @bukkyo\_univ  
[https://twitter.com/bukkyo\\_univ](https://twitter.com/bukkyo_univ)

公式 Instagram  
アカウント名: bukkyouniversity  
<https://www.instagram.com/bukkyouniversity/>

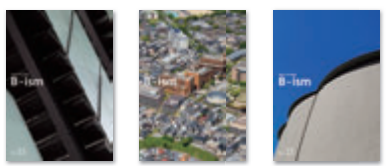
「B-ism」のバックナンバーが見られます

当誌「B-ism」は、佛科大学広報課が発行する広報誌です。

佛科大学の「人」「教育」「研究」などを、より多くの方々に知っていただく目的で、佛科大学の魅力伝えるべくさまざまな企画をお届けしています。

これまでに発行された『B-ism』は本学ホームページからも閲覧できます。

《アドレス》  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/publicity/>  
トップページ ➡ 大学紹介 ➡ 大学広報



佛科大学オリジナル日本酒 絶賛発売中

「佛米! 夢乃酒」  
純米吟醸生酒

「佛米! 夢乃酒」  
純米吟醸火入れ酒

「佛米! 夢乃酒」(29BY)  
●純米吟醸生酒 720ml:1,620円(税込)  
●純米吟醸火入れ酒 720ml:1,512円(税込)

学生有志が京都府南丹市美山町で丹精込めて育てた米を使用し、醸造した「佛米! 夢乃酒」が今年も完成し、3月下旬にジェイアール京都伊勢丹にて、販売プロモーションを行いました。

新酒を濾過・火入れせずに瓶詰めしたフレッシュなお酒です。  
絞ったお酒を加熱処理することでお酒の味や香りを安定させたお酒です。

「佛米! 夢乃酒」は下記店舗で販売中です。  
●細見酒店(TEL.075-491-8743) ※細見酒店ネットショッピングからもご購入いただけます(送料別)  
●円町 島酒店(TEL.075-463-7166)  
●山岡酒店(TEL.075-461-4772)

通信教育課程に関するお知らせ

文化講演会

開催日	開催時間	会場	備考
11月11日(日)	13:00~14:20※	愛知・名古屋キャッスルプラザ	講演テーマ、講師等については、7月上旬(予定)に通信教育課程ホームページに掲載
11月25日(日)		岡山・ホテルグランヴィア岡山	
1月19日(土)		東京・第一ホテル東京	
1月27日(日)		福岡・ホテル日航福岡	

お問い合わせ先：生涯学習部 ※各会場とも講演会終了後、通信教育課程入学説明会を実施(14:30~16:00予定)